

霧島山

概 況

新燃岳、御鉢ともに火山性地震は少なく、火山性微動は発生しませんでした。噴煙は見られず、表面現象に変化はありませんでした。

噴煙活動の状況

噴煙は見られず、表面現象に大きな変化はありませんでした。

地震・微動活動の状況

新燃岳では火山性地震は少ない状態で推移しました。気象台震動観測点 A 点（新燃岳火口の南西 1.7km）で観測した地震回数は 19 回（4 月：55 回）でした（図 1）。

また、御鉢を震源とする地震も少なく、東京大学高千穂西観測点（御鉢火口の西 1.1km）で観測した地震は 10 回（4 月：14 回）でした（図 2）。

新燃岳、御鉢ともに火山性微動は発生しませんでした（図 3）。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした（図 4）。

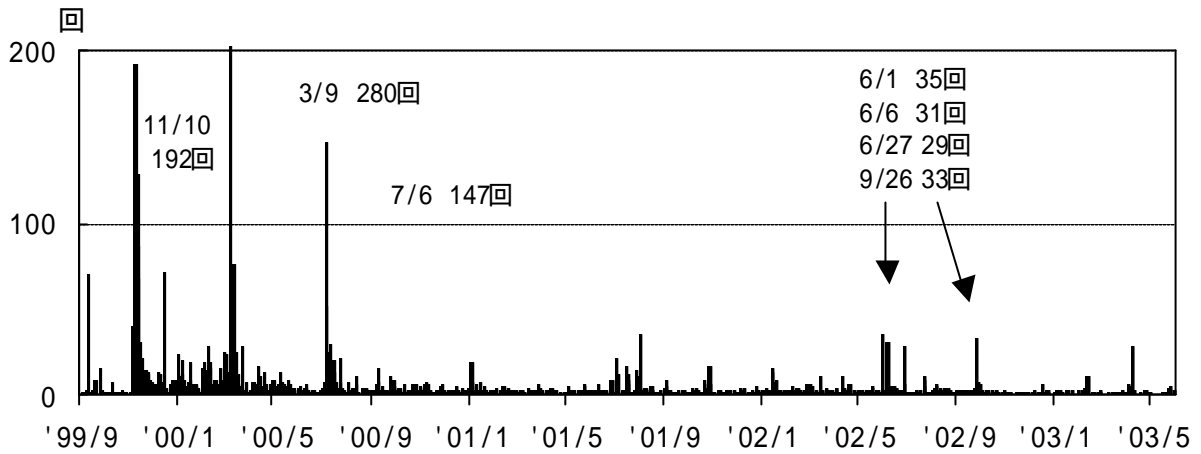


図1 気象台震動観測点A点の日別地震回数(1999年9月~2003年5月)

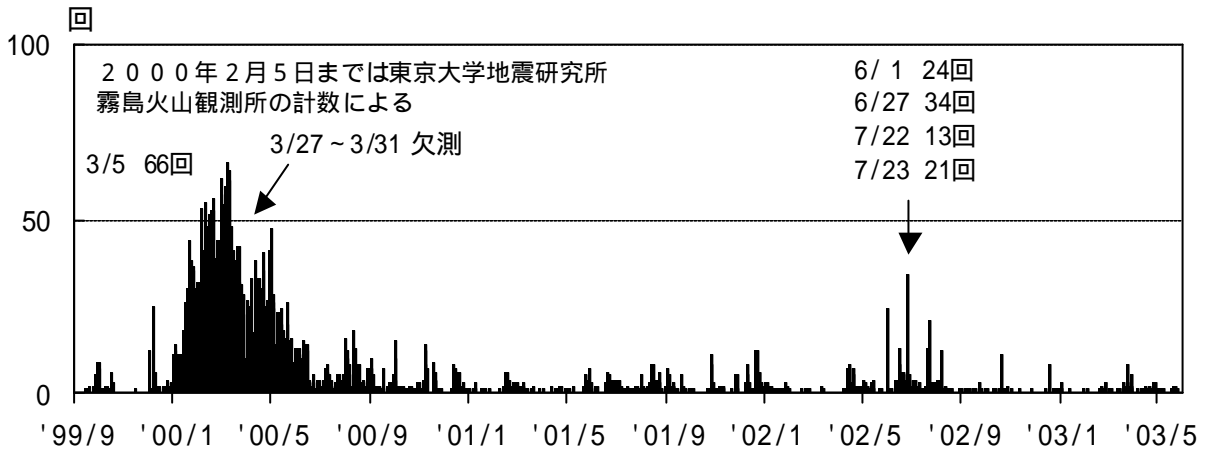


図2 御鉢付近を震源とする地震の日別回数(1999年9月~2003年5月)

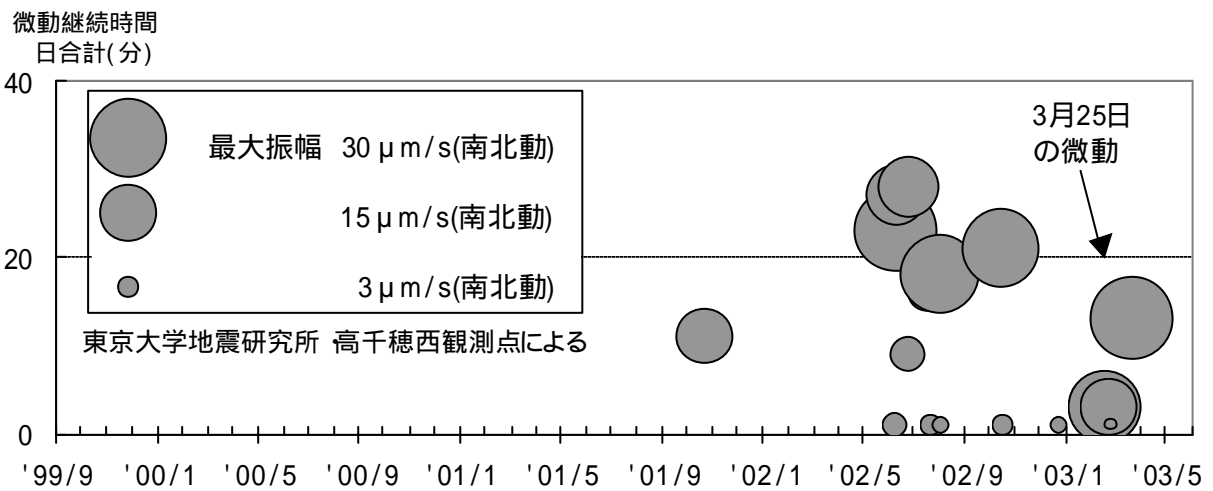
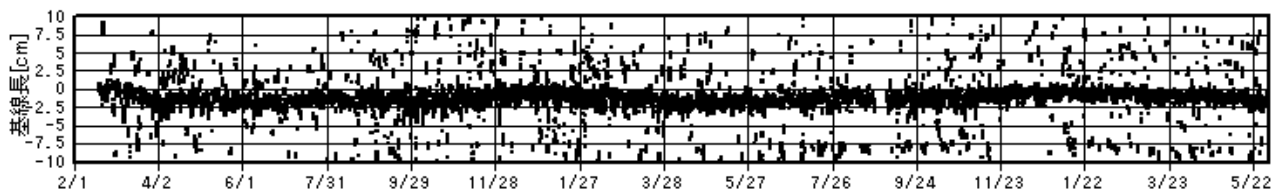
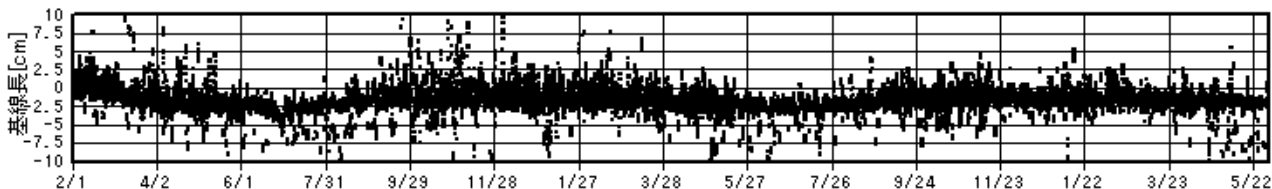


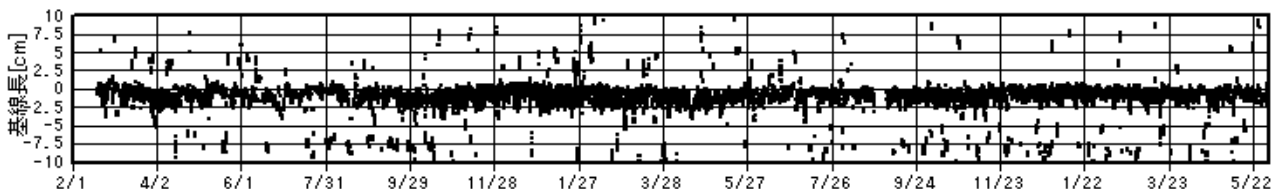
図3 御鉢付近での火山性微動の発生状況(1999年9月~2003年5月)



御池 - 高千穂の基線長変化(2001 年 2 月 18 日 ~ 2003 年 5 月 31 日)



御池 - 高原の基線長変化(2001 年 2 月 2 日 ~ 2003 年 5 月 31 日)



高千穂 - 高原の基線長変化(2001 年 2 月 18 日 ~ 2003 年 5 月 31 日)

図 4 GPS による基線長変化

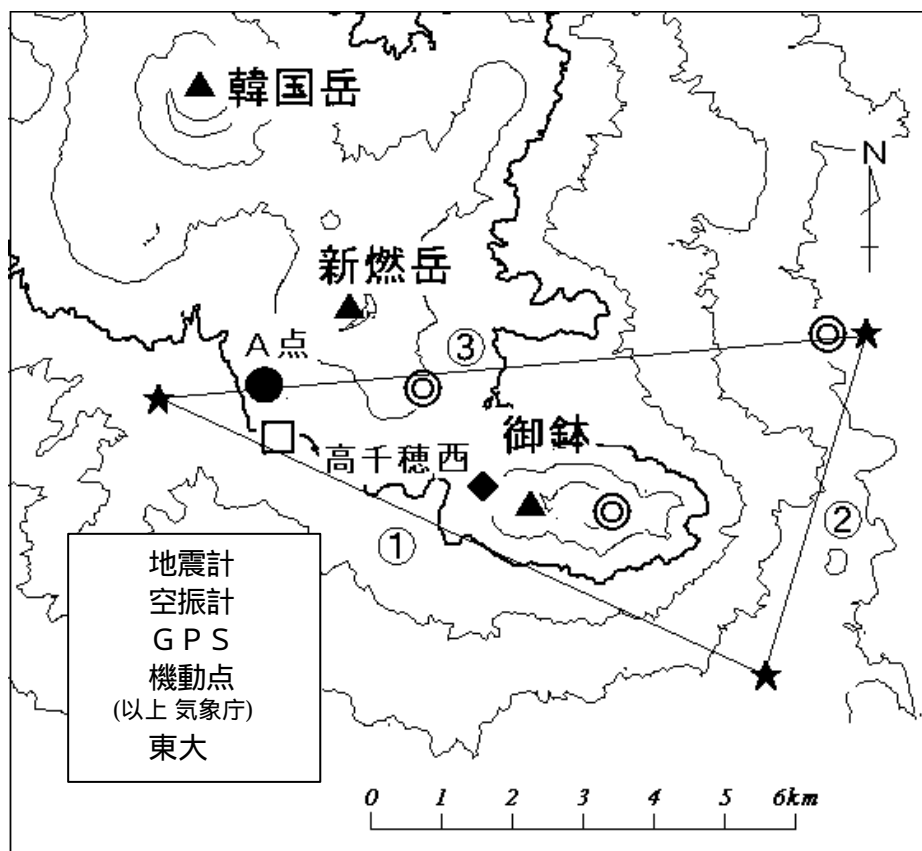


図 5 火山観測点位置図